

○井原市オートキャンプ場条例

平成17年 9 月27日

条例第34号

(目的及び設置)

第1条 自動車を利用して快適なキャンプを行う場を提供するため、経ケ丸オートキャンプ場(以下「キャンプ場」という。)を井原市笹賀町1668番地1に設置する。

(使用の許可)

第2条 キャンプ場において、施設及び設備の使用をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、キャンプ場の管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。

3 キャンプ場の設備のうちシャワーの使用については、第1項の許可を要しない。

(許可の取消し等)

第3条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、前条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはキャンプ場からの退去を命ずることができる。

(1) この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者

(2) 偽りその他不正な手段により前条第1項の許可を受けた者

(3) 前条第2項の条件に違反している者

2 市長は、キャンプ場に関する工事等のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、前条第1項の許可を受けた者に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(使用料)

第4条 第2条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表に掲げる使用料を納付しなければならない。

2 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

3 既納の使用料は、返還しない。ただし、市長が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第5条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 木竹を伐採しないこと。

(2) 植物を採取しないこと。

(3) 土地の形質を変更し、又は土石を採取しないこと。

(4) 指定された場所以外の場所でたき火をしないこと。

(5) 指定された場所以外の場所に車両を乗り入れ、又は駐車しないこと。

(6) 前各号に掲げるもののほか、市長が指示した事項

(使用の禁止)

第6条 市長は、使用者が次の各号のいずれかに該当するときは、キャンプ場の使用を拒むことができる。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) キャンプ場の施設及び設備を破損するおそれがあると認められるとき。

(3) その他市長がキャンプ場の管理上支障があると認めるとき。

(使用者の責務)

第7条 使用者は、施設等の使用にあたっては十分な注意を払い、滅失又は破損したときは、これを原状に復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長においてやむを得ない理由があると認めるときは、これを減免することができる。

2 キャンプ場において、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

(1) 物品の販売及びこれに類する行為

(2) その他市長が別に定める行為

(指定管理者による管理)

第8条 キャンプ場の管理に関する業務のうち、次の各号に掲げるものについては、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

(1) キャンプ場の利用の許可に関する業務

(2) キャンプ場の施設及び設備の維持管理に関する業務

(3) その他キャンプ場の管理上、市長が必要と認める業務

(指定管理者の指定期間)

第9条 指定管理者の指定期間は、5年以内とする。

(指定管理者の権限)

第10条 指定管理者は、指定が効力を有する間、第2条、第3条、第4条、第5条及び第6条に掲げる市長の権限を指定管理者の名において行うものとする。この場合において、使用料を利用料金として指定管理者の収入とする。ただし、地方自治法第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

2 前項の場合において、第2条（見出しを含む。）中「使用」とあるのは「利用」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第3条中「市長」とあるのは「指定管理者」と、第4条（見出しを含む。）中「使用料」とあるのは「利用料金」と、「使用者」とあるのは「利用者」と、

「市長」とあるのは「指定管理者」と、第5条（見出しを含む。）中「使用者」とあるのは「利用者」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第6条（見出しを含む。）中「使用」とあるのは「利用」と、「使用者」とあるのは「利用者」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と、第7条（見出しを含む。）中「使用者」とあるのは「利用者」と、「使用」とあるのは「利用」とする。

（利用料金）

第11条 前条第1項の利用料金は、別表の1及び2に掲げる使用料を基準額とし、当該額に0.5を乗じて得た額から当該額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が定める額及び同表の3に掲げる額とする。この場合において、同表中「使用料」とあるのは「基準額」と、「宿泊使用」とあるのは「宿泊利用」と、「一時使用」とあるのは「一時利用」と、「市長が別に定める単位」とあるのは「指定管理者が市長の承認を受けて別に定める単位」と、「市長が別に定める額」とあるのは「指定管理者が市長の承認を受けて別に定める額」とする。

（指定管理者の指定の取消し等があった場合における使用料の取扱い）

第12条 利用者は、指定管理者の指定が取り消されたとき、又は管理の業務の全部の停止を命ぜられたときは、前条の規定により定められた額をキャンプ場の使用料として市に納付しなければならない。

2 第4条の規定は、前項の使用料について準用する。

（指定管理者の責務）

第13条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設等を直ちに原状に復さなければならない。

2 指定管理者は、故意又は過失により施設等を滅失又は破損したときは、これを原状に復し、又はその損害を市に賠償しなければならない。

3 指定管理者が前2項の義務を履行しないときは、市長において原状に復し、これに要した費用を指定管理者から徴収する。

（委任）

第14条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行前に、岡山県オートキャンプ場条例（平成3年岡山県条例第26号）の規定によりなされた許可その他の行為については、なお従前の例による。

別表（第4条関係）

1 施設

区分	単位	使用料
宿泊使用	1サイト1回につき	3,000円
一時使用	1サイト1回につき	1,000円

2 設備

区分	単位	使用料
電気設備	1サイト1回につき	500円
シャワー	1回につき	100円

3 その他

区分	単位	使用料
第7条第2項各号に掲げる行為	市長が別に定める単位	市長が別に定める額